

## 1 学期

「ヌチヌグスージ 命の祭り」

沖縄のお墓参りを通して、命の大切さや、連続性について考えました。

「命の大切さがわかった」「他の人や生き物の命も大切にしようと思う」などの記述から、命の大切さについて再確認できたことが分かりました。

また、「自分たちの子どもから見ると、自分もご先祖様だから、自分の体を大切にしなければならないと思う」という、未来からの視点で考える児童もいたことに驚きました。

## 2 学期

11月「日曜日の公園で」

遊びの一場面から、友達との考えの相違について考えました。ゲームを買ってもらったばかりの「ぼく」は、「ゲームをする」という約束をして、放課後友達と公園に集まりました。そこに、ゲームを持っていない「ヨシキ」がやってきて、ゲームをするぼくたちを見ていると言います。ゲームを楽しんでいたぼくたちですが、ゲームに飽きた「タク」が「走って遊ぼう」と提案してきました。ゲームをして遊ぶつもりだったぼくは納得ができず、タクと対立をしてしまいます。

「ああ～！あるある。」と、子供たちはこのような自分の思いと友達の意見が対立して困った経験が少なからずあったようです。

「話し合えばいいよ！」

「いや、ゲームを持っていない子がいるのだから、ぼくはタクの意見に合わせたほうがいいと思う。」

「ゲームと走る遊び、半分ずつやればいいんじゃない？」

「でもそれじゃあ最初の約束を破ることになるよ。」

どうすればお互いが納得をするか、たくさんの意見を出し合って考える姿が見られました。友達のいろいろな意見を聞くことで、自分の考えを深めることができました。授業の最後には、こうした対立が起こったときは、一方的に譲ったり、強く主張したりせず、お互いが納得することが大事、ということに気付くことができました。